

2 月期 居宅介護支援部会アンケート 開催日 平成30年2月26日

加入事業所 事業所 参加率 (事業所) 参加人数 人 今回は共同開催で居宅27事業所35名 あだちPOSネットワーク 20事業所参
出席 事業所 #DIV/O! 回答者 部 回収率 #DIV/O!

集計結果

1 本日の居宅介護支援部会で取り上げた内容は参考になりましたか？

① 大変参考になった	43	86.0%
② 少し参考になった	6	12.0%
③ あまり参考にならなかった	0	0.0%
④ 参考にならなかった	0	0.0%
⑤ 未記入	1	2.0%

50

2 参考になった点

PT,OTの視点の違い。

セラピストの方とCMの意見がほぼ同じになりました。身体機能評価について知識が不足していたので参考になりました。

PTさんからの視点が新鮮でした。

CMとセラピストの考え方の違いに気づけた。

目的が具体的に且つ本人からの直接の言葉であると、意欲の向上につながる事が学習できた。

事例と一緒に考えることで視点の違いを感じたのと一緒に考えることで交流が深まりました。

プランや目標を作る時、本人や家族と決めることが多い専門職の方と一緒に考えると、より深く目標を立てることができると思った。皆で考えることが大事。

CMの視点、PTの視点の違い。

専門職の視点を学べた。

視点の違い、チームの役割分担を明確にしていく事、目標の再設定をする事も必要。

ケアマネとセラピストでの視点について、多くのことを学びました。

職種によって視点が異なることが分かりました。多職種連携の大切さを感じました。

CMとセラピストの視点の違い。

PTさんとケアマネの視点の違い。身体機能評価の見方。

CMと訪問リハビリの視点の違いが学習しました。

他職種の意見を聞いたこと。

ケアマネとPTOTSTさんの考え方の違い、視点の違いがあり、それが上手く利用者の為になっているのだと感じた。

現在自分も末期がんの方に関わっている。最初の事例で、本人の元氣になりたいという意向があるので、力になればと 思っていたので参考になった。

PTOTの意見が直接聞いて今後の参考になった。ケアマネとセラピストの考え方の違いが分かった。

CMは現状の生活を評価して考える。POSは受傷前の生活に戻そうとする。初めから視点が違うことが分かって良かった。

ケアマネとセラピストの視点の違いから、幅広い視点での対象者への支援を考えることができた。

事例検討について、分からない情報がある中、想像で色々なことが考えられると感じた。様々な状態を想定して、支援、情報把握していくことが大事と感じた。

ケアマネジャーとセラピストの視点の違いを感じた。

人の心を動かすことが大切。

機能面のみだったが、生活全般を見ながらその方の生き方まで掘り下げていくことで意欲まで引き出せるのかなあと。

目標は自分のためではなく誰かのためだと目的意欲が向上する。

POSとCMGとの視点の違いがよくわかった。

セラピストの視点を聞くと、より目標に対する取り組みが具体的に見えてきて、本人のモチベーションにも繋がると思う。

その大前提として、羽生先生のおっしゃった「人は気持ちで大きく左右されるもの」ということをケアマネジャーとしてまたチームとして

とらえないと、目標が明確でないプランになってしまうと思った。この点についてきちんと立ち返りながらプランを作っていけたらと考え直す良い機会になった。

2

続き⇒参考になった点

①「目的がはっきりしていると目標設定がしやすい。」②「人の心を動かす」

①②からリハビリだけではなくケアマネとして利用者と関わる上で大切な視点だと思った。

本人の気持ちモチベーション向上が生活の質を高めるのに大きな役割を果たす。モチベーションが向上できるきっかけ要素を発見すること、

細かいところに気配りができないと気付けない事が多いのでは？

同じ視点と違う視点を共有しあうことで何もなかったキャンパスが色づいていく印象は大事だと改めて思った。

PTとしての勤務ですが、在宅に勤めて約半年になります。ケアマネの話聞く事ができ、とても参考になる事が多かった。

セラピストとケアマネの視点の違いが参考になった。

視点が色々ある事。それをプランに反映するにはプラン完成前にもディスカッション、情報交換を今回のように話し合えると良いプランが出来そうに思いました。

リハビリの先生のケアの視点の違いが分かりました。

人を動かす原典の再確認ができた。

利用者様の意欲、役割を引き出す視点。身体機能評価からの情報。

POSの立場からの意見とCMGの意見の違いがある。

セラピストとケアマネの視点は違うので、意見を出し合えばご利用者の目標をもっと具体化し達成感を得られて生活向上できるのではと思いました。

OT PTの方やケアマネの考え方の違いを学びました。

職種で視点の違いや考え方の違いで目標の立て方が違う。

関節可動域の用語をPTに説明してもらえた。

体重のコントロール トイレまで家々になるようになるというのが私たちのグループでは出なかったので参考になった。

義足をつけることで左右のバランスが良くなるという意見も参考になった。

ケアマネの視点とPOSとの視点の違いがよくわかりました。

CMは本人がどう考えているのか。どうしたいのかばかりに重く考えてしまうが、POSは今の身体状況から必要性を考えて目標を考えていく

動きたい気持ちを聞き出す。病院では患者が優等生である。 残存機能を生かす。

セラピストの視点が学習できた。

目標に対する過程を学習することができた。

PT OT STとの連携

同じ目標を掲げてもCMとリハでは視点が違っている。

3

参考にならなかった点(理由)

本人達の意向の確認が取れない。

講義が特に新しい情報や気づきが少なかった。

目標本人のしたい事や家族の気持ち等の事例が入っていないため、目標を立てにくいと思った。

グループワークの進行の仕方がわかりづらかった。

4

その他(意見感想など)

他職種とのグループワークは一つの課題から広がり、とても参考になります。

セラピストさん達の視点により、ケースの見方を学習できた。今後活用していきたい。

雪で延期になったが、中止にならなくて良かった。

ケアプランを作る上でチームとして連携することで、一緒により良い計画、目標設定を立てることができると感じた。

このような多職種とのコミュニケーションが取れる機会があってほしい。

勉強になりました。ありがとうございました。

発表はどうしても長くなるので代表の班だけで良かったのでは。

日頃セラピストと研修する機会が少ないため、また参加したいと思いました。

できたことを、ものすごく褒めるということが意欲の向上に効果的というPTOTさんの意見について、自分もそのようにしたいと思った。

POSと一緒に事例がありとても参考になった。

4

続き⇒その他(意見感想など)

目標がはっきりしない段階で検討は困難であったが、みなさん同じような視点での発表内容同一見解が多く共通認識が持てた。

大変良い機会でした。ありがとうございました。

時間をもっと早い時間にしてもらえると助かります。

職種による視点の違いを活かし、ケアプランの内容を濃くしていけたらと思いました。

多職種との研修は参考になる。今日のようにセラピストとケアマネ。

今をどうする？現状になる前にどう戻す？を気づけた。

勉強になった。5点評価を学べてよかった。

訪問看護からのリハビリが法改正によりどのように変わるかをもっと知りたかった。

今の生活(困っていること)前の生活に近づける事。二つの考え方の中で関わることで良いサービスになるんだと感じます。予後や過去も含めて検討できるようにリハ職 ケアマネが連携できるようなサービスを組むのは大切だと感じました。

他職種の方と突っ込んだ話し合いの機会が持てたことは大変良かった。

月末ではない日程にしてもらいたい。

5

今後、部会で取り上げて欲しい内容

成年後見

居宅サービス計画書の書き方の再確認、長期短期目標期間の設定等、軽微な変更等の再確認等→ 足立区で共有をお願いしたい。

困難事例

認知症

こういった多職種交流をしていきたい。

身寄りはいない方の支援について。

後見制度について。

すぐそこに迫ってますが、H30年度W改定について。

区内の通所介護が今度の改正でどのように体制などを変えたのか。

区の総合事業の今後の取り組みについて。

今後も事例検討、特に困難な事例は一緒にディスカッションできると良いと思う。

用具とケアマネ、訪問とケアマネ、デイとケアマネの研修があるとよいと思いました。

今後の動向(改正)を分かりやすく教えていただきたい。

事例検討 主介護者が介護にすごく消極的で大変だった事例